

### 第3章 工業統計にみる100年の製造業の移り変わり

1. ここでは、初めて調査が行われた明治42年の工業統計のデータを用いていますので、当時の調査内容や用語の意味について説明します。

なお、調査項目・品目名は、明治42年当時のものをそのまま使用しています。

- ① 調査の時期：明治42年12月31日現在
- ② 調査の範囲：平均1日職工5人以上が就業する工場
- ③ 調査の方法：工場主は地方長官の配布する工場票によって、翌年1月31日までに所管地方長官に報告し、地方長官はこれを取りまとめて3月31日までに農商務大臣に提出する。
- ④ 用語の意味：

工場	製品の製造、加工または修理を行う所。次のとおり分類される。	
	染織工場	製絲業、紡績業、撚糸業、眞綿製造業、製綿業、織物業、染色整理其他ノ加工業、組物編物業、刺繍業など
	機械及器具工場	機械製造業（電気機械類、金属工用、農業用など）、船舶車輛製造業（機関車、電車、馬車、人力車など）、器具製造業（理化学器、度量衡器、工匠具など）、金属品製造業（鐵、洋傘骨、金銀器など）など
	化学工場	窯業（陶磁器及七寶、硝子製品、セメント、煉瓦など）製紙業、漆器業、製革及毛皮精製業、發火物製造業、製油及製蠟業、製薬業、護謨製造業、化粧品製造業、石鹼及蠟燭製造業、人造肥料製造業など
	飲食物工場	醸造業（清酒、焼酎、葡萄酒、醬油、味噌など）、製糖業、煙草業、製茶業、精穀製粉業、ラムネ氷、菓子製造業、罐詰瓶詰業、畜産品製造業、水産品製造業、雑業（豆腐、茷蓐、調味料品など）など
	雑工場	印刷製本業、紙製品業（壁紙、屏風、扇子、提灯など）、木竹蔓莖製品業（製材、下駄、箆笥、籠など）、皮革製品業、羽毛製品業（筆、刷毛など）など
	特別工場	電気業、瓦斯業、金属精煉業
職工	直接作業に従事する者。工場主は除く。	
生産額	製品の価格の合計。ただし、原料の価格や加工賃を区別して差し引き出来なかったため重複しているものもある。	

2. 昭和30年と平成20年の産業名については、別途産業を統合して略称を用いています。詳細は「長期時系列データ等について」をご参照下さい。

明治42年の工場数と昭和30年、平成20年の事業所数の比較

～産業別構成～

－ 明治42年の工場の6割超が染織と飲食物 －

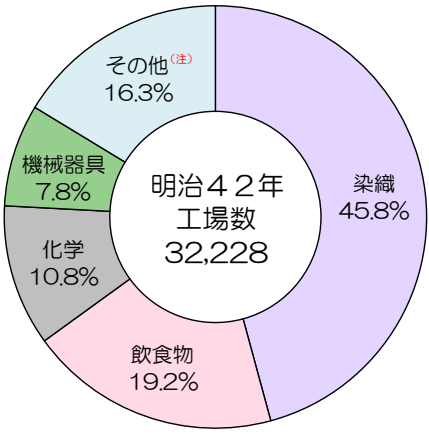
工業統計調査は明治42年に始まり100周年を迎えました。ここでは、明治42年、昭和30年、平成20年の我が国の産業の移り変わりをみていきます。

明治42年の工場数を産業別に構成比で見ると、染織の45.8%と飲食物の19.2%で6割を超えており、以下、化学の10.8%、機械器具の7.8%となっています。

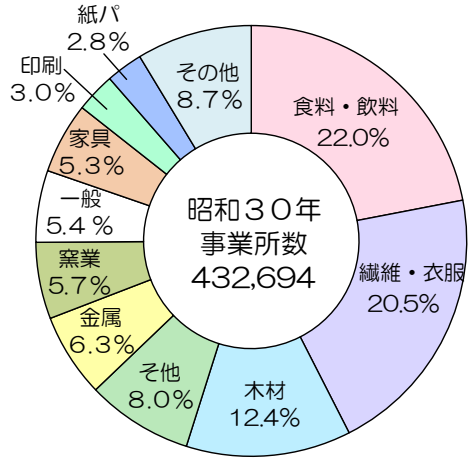
昭和30年の事業所数を産業別に構成比で見ると、食料・飲料が22.0%、繊維・衣服が20.5%、木材・木製品が12.4%となっています。

平成20年は、一般機械が14.2%、金属製品が13.5%、食料・飲料が12.1%となっています。

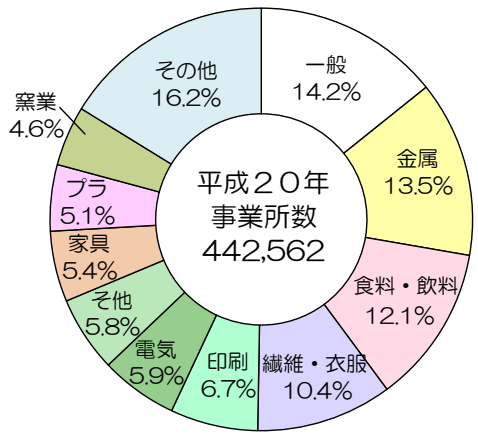
産業別にみた明治42年の工場数の構成比  
(職工5人以上の工場)



昭和30年の事業所数の構成比  
(全事業所)



平成20年の事業所数の構成比  
(全事業所)



(注) 明治42年の“其他”は、雑工場と特別工場の生産額の合算値です。

## 明治42年の工場数と昭和30年、平成20年の事業所数の比較

～産業別都道府県順位～

### － 明治42年の染織と飲食物の工場数1位は京都府 －

各年の工場数(事業所数)について、上位産業別に都道府県順位をみると、明治42年の染織と飲食物の1位はともに京都府となっています。また、化学の1位は愛知県、機械器具の1位は東京都となっています。

昭和30年の食料・飲料の1位は北海道、繊維・衣服の1位は愛知県、木材・木製品の1位は静岡県、その他の1位は東京都となっています。

平成20年の一般機械と金属製品の1位はともに大阪府、食料・飲料の1位は静岡県、繊維・衣服の1位は京都府となっています。

明治42年、産業別の工場数の都道府県順位  
(職工数5人以上の工場)

	染織	飲食物	化学	機械器具
1位	京都	京都	愛知	東京
2位	愛知	兵庫	東京	大阪
3位	福井	佐賀	大阪	愛知
4位	埼玉	大阪	兵庫	兵庫
5位	東京	東京	岐阜	京都

昭和30年、産業別の事業所数の都道府県順位  
(全事業所)

	食料・飲料	繊維・衣服	木材	その他
1位	北海道	愛知	静岡	東京
2位	静岡	京都	愛知	大阪
3位	愛知	大阪	兵庫	岡山
4位	福岡	東京	新潟	広島
5位	東京	群馬	東京	愛知

平成20年、産業別の事業所数の都道府県順位  
(全事業所)

	一般	金属	食料・飲料	繊維・衣服
1位	大阪	大阪	静岡	京都
2位	愛知	東京	北海道	愛知
3位	東京	愛知	兵庫	大阪
4位	埼玉	埼玉	愛知	東京
5位	神奈川	新潟	鹿児島	岐阜

明治42年の職工数と昭和30年、平成20年の従業者数の比較

～産業別構成～

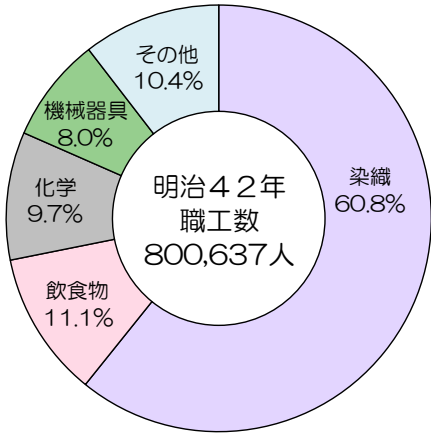
－ 明治42年の職工の6割が染織 －

明治42年の職工数を産業別に構成比で見ると、染織の60.8%が大半を占めており、以下、飲食物の11.1%、化学の9.7%、機械器具の8.0%となっています。

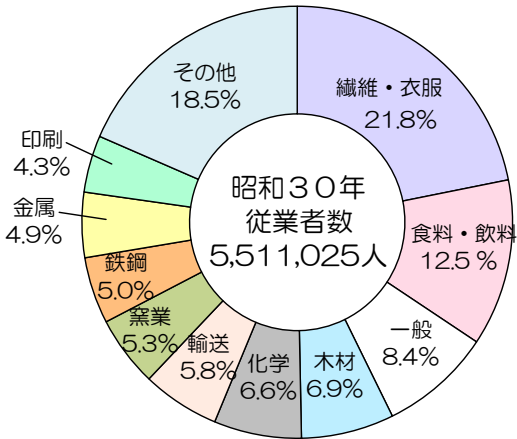
昭和30年の従業者数を産業別に構成比で見ると、繊維・衣服が21.8%、食料・飲料が12.5%、一般機械が8.4%となっています。

平成20年は、電気機械と食料・飲料がともに14.7%、一般機械が14.5%となっています。

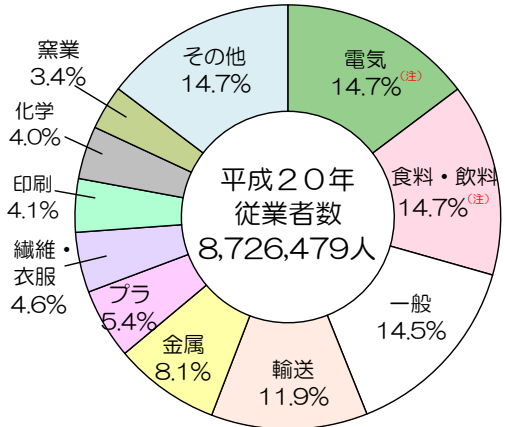
産業別にみた明治42年の職工数の構成比  
(職工5人以上の工場)



昭和30年の従業者数の構成比  
(全事業所)



平成20年の従業者数の構成比  
(全事業所)



(注) 平成20年の電気機械は1,285,331人、食料・飲料は1,279,795人です。

## 明治42年の職工数と昭和30年、平成20年の従業者数の比較

～産業別都道府県順位～

### － 明治42年の染織の職工数1位は長野県 －

各年の職工数(従業者数)について、上位産業別に都道府県順位をみると、明治42年の染織の1位は長野県となっています。また、飲食物と化学の1位はともに兵庫県、機械器具の1位は東京都となっています。

昭和30年の繊維・衣服の1位は愛知県、食料・飲料と一般機械の1位はともに東京都、木材・木製品の1位は北海道となっています。

平成20年の電気機械の1位は愛知県、食料・飲料の1位は北海道、一般機械と輸送機械の1位はともに愛知県となっています。

#### 明治42年、産業別の職工数の都道府県順位 (職工数5人以上の工場)

	染織	飲食物	化学	機械器具
1位	長野	兵庫	兵庫	東京
2位	愛知	京都	大阪	大阪
3位	大阪	大阪	東京	兵庫
4位	東京	東京	愛知	長崎
5位	京都	栃木	高知	神奈川

#### 昭和30年、産業別の従業者数の都道府県順位 (全事業所)

	繊維・衣服	食料・飲料	一般	木材
1位	愛知	東京	東京	北海道
2位	大阪	北海道	大阪	愛知
3位	京都	愛知	愛知	静岡
4位	東京	大阪	兵庫	東京
5位	兵庫	静岡	神奈川	兵庫

#### 平成20年、産業別の従業者数の都道府県順位 (全事業所)

	電気	食料・飲料	一般	輸送
1位	愛知	北海道	愛知	愛知
2位	長野	愛知	大阪	静岡
3位	神奈川	埼玉	神奈川	神奈川
4位	静岡	兵庫	兵庫	広島
5位	兵庫	静岡	茨城	埼玉

明治42年の生産額と昭和30年、平成20年の出荷額の比較

～産業別構成～

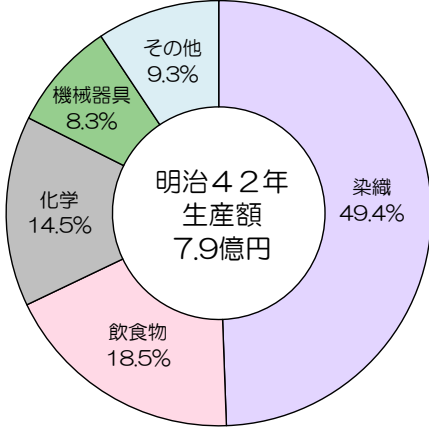
－ 明治42年の生産額の7割弱が染織と飲食物 －

明治42年の生産額を産業別に構成比で見ると、染織の49.4%が半分を占めており、以下、飲食物の18.5%、化学の14.5%、機械器具の8.3%となっています。

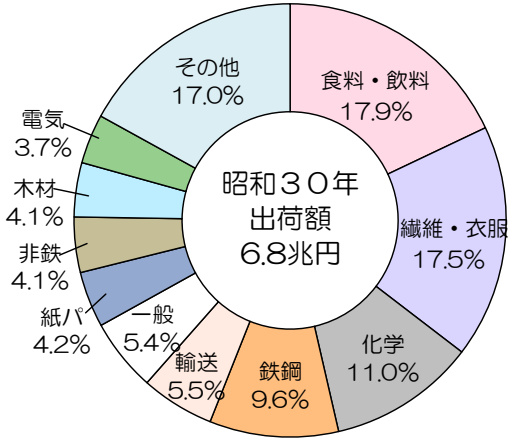
昭和30年の出荷額を産業別に構成比で見ると、食料・飲料が17.9%、繊維・衣服が17.5%、化学工業が11.0%となっています。

平成20年は、輸送機械が18.9%、電気機械が15.4%、一般機械が12.0%となっています。

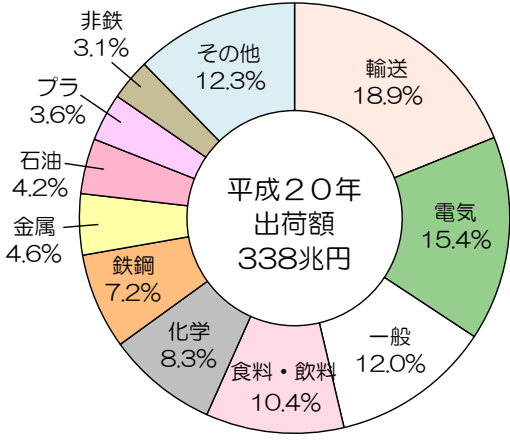
産業別にみた明治42年の生産額の構成比  
(職工5人以上の工場)



昭和30年の出荷額の構成比  
(全事業所)



平成20年の出荷額の構成比  
(全事業所)



## 明治42年の生産額と昭和30年、平成20年の出荷額の比較

～産業別都道府県順位～

### － 明治42年の染織と化学の生産額1位は大阪府 －

各年の生産額(出荷額)について、上位産業別に都道府県順位をみると、明治42年の染織と化学の1位はともに大阪府となっています。また、飲食物の1位は兵庫県、機械器具の1位は東京都となっています。

昭和30年の食料・飲料と化学工業の1位はともに東京都、繊維・衣服の1位は愛知県、鉄鋼業の1位は兵庫県となっています。

平成20年の輸送機械、電気機械、一般機械の1位はともに愛知県、食料・飲料の1位は静岡県となっています。

#### 明治42年、産業別の生産額の都道府県順位

(職工数5人以上の工場)

	染織	飲食物	化学	機械器具
1位	大阪	兵庫	大阪	東京
2位	長野	大阪	東京	大阪
3位	愛知	東京	兵庫	兵庫
4位	東京	福岡	愛知	長崎
5位	京都	神奈川	神奈川	栃木

#### 昭和30年、産業別の出荷額の都道府県順位

(全事業所)

	食料・飲料	繊維・衣服	化学	鉄鋼
1位	東京	愛知	東京	兵庫
2位	兵庫	大阪	大阪	福岡
3位	神奈川	東京	神奈川	大阪
4位	大阪	三重	山口	神奈川
5位	北海道	京都	福岡	東京

#### 平成20年、産業別の出荷額の都道府県順位

(全事業所)

	輸送	電気	一般	食料・飲料
1位	愛知	愛知	愛知	静岡
2位	静岡	静岡	神奈川	北海道
3位	神奈川	三重	兵庫	愛知
4位	三重	兵庫	大阪	兵庫
5位	広島	長野	茨城	神奈川